MIZUHO

One MIZUHO

市場営業部 為替営業第二チーム

みずほCustomer Desk Report 2023/03/30 号(As of 2023/03/29)

, ,		,			
【昨日の市況概要		公示仲值	131.31		
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	131.04	1.0841	142.17	1.2331	0.6707
SYD-NY High	132.89	1.0872	144.11	1.2362	0.6712
SYD-NY Low	130.76	1.0818	141.83	1.2305	0.6662
NY 5:00 PM	132.89	1.0844	144.09	1.2314	0.6685
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,717.60	323.35	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	11,926.24	210.16	日本10年債	0.3000%	▲0.0100%
S&P	4,027.81	56.54	米国2年債	4.0990%	0.0206%
日経平均	27,883.78	365.53	米国5年債	3.6802%	0.0080%
TOPIX	1,995.48	28.81	米国10年債	3.5649%	▲0.0048%
シカゴ日経先物	27,860.00	565.00	独10年債	2.3040%	0.0225%
ロントンFT	7,564.27	80.02	英10年債	3.4660%	0.0145%
DAX	15,328.78	186.76	豪10年債	3.3130%	0.0170%
ハンセン指数	20,192.40	407.75	USDJPY 1M Vol	12.04%	0.24%
上海総合	3,240.06	▲ 5.32	USDJPY 3M Vol	12.50%	▲0.04%
NY金	1,966.90	▲ 6.60	USDJPY 6M Vol	11.71%	▲0.02%
WTI	72.97	▲ 0.23	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.36%	Yen Call Over
CRB指数	262.71	▲ 0.78	EURJPY 3M Vol	12.67%	▲0.14%
ドルインデックス	102.64	0.21	EURJPY 6M Vol	12.01%	▲0.12%

東京時間のドル円は131.04レベルでオープン。オープン直後は下押し圧力が強まり、130.93まで下落したものの、仲値にかけては実需のドル買いが優勢。その後も同様の流れが続く中、金融不安が一旦和らいでいることによる円の売り戻しや3月決算企業の権利最終日で株式市場が上昇する動きもサポートとなってか、一時132.03まで上昇し、131.90レベルで海外時間に渡った。

ロントン市場のトル円は、131.90レヘルでオープン。新材料に乏しい中、方向感のない動きで132円前後でもみ合う。その後、米金利低下を背景に131.61まで売られも、結局132.19レヘルでNYに渡った。欧州株は金融不安の消化によるリリーフラリーでオープンから各指数全面高となり、その後も底堅く推移した。

海外市場のドル円は130円台後半でスタート。アジア時間では月末絡みの円売りや、リスクオン優勢の流れとなりドル円は132円台まで堅調に推移。その後一時131.61まで売り戻された後、再び上昇し132.19レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き続き上昇を続けるも132.70付近で反落、続いて発表された米2月中古住宅販売仮契約件数(前月比)が予想を上回ったものの、ドル円への反応は限定的。その後米株式市場の株高を受けドル買い展開となり再び132.72まで反発するも上値重い状況となる。午後にはFRB議長が会合で「年内にもう一度利上げする可能性がある」とのヘッドラインが伝わるも特段のドル買い材料とはならず、その後も高値圏で横ばいの推移が続き、終盤には132.89まで小幅上昇し日中高値を更新し、132.89レベルでクロース、。一方、海外市場のユー마゙ルは1.08台半ばでスタート。アジア時間では月末の調整からの1.0818まで売り戻されるも、欧州時間に入ると市場はドル売りに転じユー마゙ルは反転上昇し1.0856レベルでNYオープン。午前中は新規材料が見当たらない中じり安で推移し1.0824まで値を下げた。午後は小幅反発するも狭いレンジでの推移が続き1.0844レベルでクロース、。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小野崎•西

京

ン

【昨日の指標等】

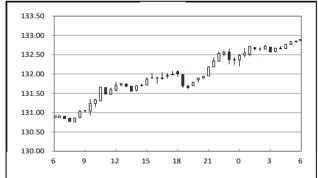
【中口の担保会】							
Date	Time		Event		結果	予想	
3月29日	23:00	米	中古住宅販売仮契約(前月比)	2月	0.8%	-3.0%	

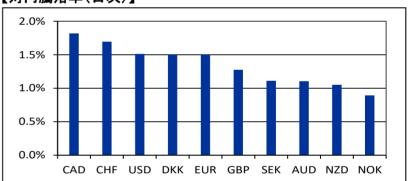
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
3月30日	21:00	独	CPI(前月比/前年比)·速報	3月	0.7%/7.3%	0.8%/8.7%
	21:30	米	新規失業保険申請件数 25-Mar		195k	191k
	21:30	米	GDP(年率/前期比)	4Q T	2.7%	2.7%
	21:30	米	個人消費	4Q T	1.4%	1.4%
	21:30	米	コアPCE(前期比)	4Q T	4.3%	4.3%
3月31日	01:45	米	バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	_	_	-
	02:00	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	_	_	_

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】





【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY				
想定レンジ	132.00-133.50	1.0780-1.0900	143.00-145.00				

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は大幅に上昇。東京時間は朝方に130円台後半を付けるも月末に向けた買い実需や日米株価指数の上昇を背景に132円台まで上昇。海外時間には欧米金融システム不安の和らぎに伴う米景気減速に対する警戒感が和らぎドル買い優勢の展開。パウエル議長が「年内あと1回の追加利上げを想定している」との考えを示したとのヘッドライン等もあり132.89円まで上値を伸ばした。本日も月末を控え東京時間については買い優勢の展開か。欧米金融システム不安は燻るものの新たなネガティブヘッドラインが出てこなければまずは買い実需に伴う下値の堅い展開を想定したい。

